

まちを
つくる



歴史を
つくる

府中市

キミが
つくる



技術職員 | 採用案内

JOB 職種紹介



土木職

主に...

都市計画などまちづくりの計画策定に関すること

道路・下水道・公園などの都市基盤の整備
(測量・設計・工事など)や維持保全に関すること

開発行為などの指導・協議に関すること

など、様々な業務に携わります。

主な配属先
都市整備部
道路課 計画課 公園緑地課 下水道課 建築指導課
まちづくり拠点整備推進本部
分倍河原駅周辺整備担当 府中基地跡地留保地整備担当



建築職

主に...

建築物の確認申請及び許可などに関すること

公共施設や小中学校の整備・維持保全に関すること

住宅や建築物の耐震化促進に関すること

など、様々な業務に携わります。

主な配属先
都市整備部
道路課 計画課 公園緑地課 下水道課 建築指導課 住宅課
まちづくり拠点整備推進本部
分倍河原駅周辺整備担当 府中基地跡地留保地整備担当
総務管理部 教育部
新庁舎建設推進室 建築施設課 学校施設課

INFORMATION 研修制度・人事制度

研修制度

新任研修

仕事の基本を学びます。

職場研修(OJT)

入庁後1年間、指導員によるサポートが受けられます。

必修研修

一定年次まで必修研修を実施し、職員の資質や能力などの総合力を高めます。

職場外研修

一定期間本来の業務から離れ、基礎的・専門的な知識や技術を体系的に学習します。

自己啓発の支援

自分に必要な知識や能力に関する、自発的な学習を支援しています。

人事異動

人事異動は、本人の能力・適性・経験などを考慮し、概ね5年程度で行われます。様々な分野で経験を積むことで、広い視野・知識を習得し、バランスのとれた能力開発を図ります。

昇任フロー

昇任は、勤務成績や研修実績などを考慮し、昇任試験や選考により行われます。職員一人ひとりが知識、能力、意欲などに応じた職に就くことができます。



>1級

>主任

>係長

>課長補佐

>課長

>次長

>部長



HISTORY&FUTURE

府中市のまちづくり

HISTORY



まちづくりの歴史を
ピックアップ

1954 市制施行

1954年(昭和29年)4月、当時の府中町、多磨村、西府村の1町2村が合併し、人口約5万人の府中市が誕生しました。安らぎを与える自然や郷土愛を育む歴史的遺産の保護や市民生活を快適にするまちづくりを目指し、発展に力を注いでいます。



1960年(昭和35年)から現在の庁舎で執務開始

1958 桜通り

桜通りは、1958年(昭和33年)に市制施行後初の都市計画街路として整備し、毎年春の市民桜まつりでは、多くの人でにぎわいます。完成から60年以上経った現在、道路環境の更なる改善に向けて、バリアフリー化などに配慮した再整備を進めています。



市民桜まつりでは歩行者天国になります

1973 郷土の森公園

郷土の森公園は、1973年(昭和48年)に多摩川沿いの一角を整地し、完成しました。公園内には交通ルールを学ぶ交通遊園やバーベキュー場、様々なスポーツを楽しめる総合体育館や野球場などがあります。1987年(昭和62年)には郷土資料の収集や保存を目的とした、郷土の森博物館が開館し、現在は市民が府中の自然や歴史・文化を学び、自主的・自発的にスポーツ活動に親しむ場所となっています。



郷土の森博物館の水遊びの池は子どもたちに大人気

2018 府中駅南口 市街地再開発事業

建物の多くが木造で、密集して建てられ危険な状況にあった京王線府中駅南口は、府中駅の高架化に伴って3つの地区で順次、再開発事業が実施されました。都市機能の更新と、土地の高度利用が図られた市の表玄関にふさわしい広域的な中心商業地区として、「活力と魅力のあるまち」に生まれ変わり、2018年(平成30年)に最後の市街地再開発事業は完了しました。



生まれ変わった府中駅南口

FUTURE



未来へつづくプロジェクト



PROJECT 1 分倍河原駅周辺整備事業

分倍河原駅の周辺は、府中崖線や線路によって分断された地域特性から、駅周辺の回遊性の向上や更なるにぎわいの創出などに課題を抱えています。市では、歩行者中心のコンパクトなまちを目指し、地域住民や交通事業者との協働により、駅周辺の基盤整備や良好な商店街の形成などの取組を進めていきます。



PROJECT 2 府中基地跡地留保地周辺地区の新たなまちづくり

市内には、かつて米軍の基地として使われていた土地があり、国へ返還された以降も一部が留保地として使われていない状態が続いていました。この留保地を今後新たに土地利用していくことになり、当該地は東京ドーム約3個分の広大な土地であることから、周辺地区を含め今後の府中市の魅力につながる一体的なまちづくりを進めていきます。



土木職
INTERVIEW

市民からいただく
感謝の言葉が、
仕事のやりがい。

浅井 琢也 | 建築指導課 | 平成25年度入職 | 理工学部 土木学科卒



1Day Schedule

ある
日の
1日

- 8:20 - 出勤
- 8:30 - 業務開始・メール確認
- 9:00 - 書類の確認
- 10:00 - 現場で立ち会い
- 12:00 - 昼食
- 13:00 - 打ち合わせ
- 14:00 - 書類作成
- 17:15 - 退勤



生活環境を向上させるため、
狭あい道路を解消

現在は狭あい道路の拡幅整備事業に携わっています。道幅が4mに満たない狭あい道路が市内にはまだ数多くあるので、そうした道路の幅を広げて整備し、住環境の向上を図っています。具体的な業務としては、調査士への測量依頼から測量結果の確認、工事施工会社との調整、拡幅工事の監督など多岐にわたります。建築指導課に配属になって今は3年目。市民からの相談を自分の知識で解決できることも増え、成長を実感できています。

仕事で大切にしているのは、
市民に心を開いていただくこと

狭あい道路の整備事業では、市民の方々と接する機会がたくさんあります。市民の方とお会いする際に大切にしているのは笑顔と挨拶。第一印象を良くして市民のみなさんに心を開いていただくことで、円滑に整備事業を進めていけると考えています。仕事をしていて達成感を得られるのは、狭あい道路を解消する拡幅工事を終えたときですね。「生活しやすくなった」「ありがとう」などと市民から感謝の言葉をいただくと、本当に嬉しいです。



土木職
INTERVIEW

暮らしやすくて自然の多い
府中市のまちづくりに、
携わりたいと思いました。

及川 慶 | 道路課 | 令和元年度入職 | 農学部 地域生態システム学科卒



Schedule After Work

ある
日の
退勤後

- 17:15 - 退勤
- 18:00 - 帰宅
- 18:30 - ランニング
- 19:30 - 夕飯
- 20:30 - 映画鑑賞
- 22:00 - 友人とオンラインゲーム
- 24:30 - 就寝



和やかな雰囲気での
仕事に取り組みやすい環境

学生時代を過ごした府中市のまちづくりに関わりたくて、私は市役所への入職を決意しました。入職して一番に感じているのは、働きやすい環境であることです。市役所には少し堅苦しいイメージを持っていたのですが、実際には非常に和気あいあいとした雰囲気の中で仕事に取り組んでいます。上司や先輩にはなんでも気軽に質問ができるので、入職当初から安心して業務を進めることができました。年齢が離れた職員とも、趣味の話で盛り上がる人が多いですね。

必要な専門知識はすべて、
入職後に学ぶことができる

私が担当している業務は、市が整備する道路工事の設計や積算、監督などです。沿道の並木の植え替えや用水路の補修などを担当することもあります。私は学生時代に土木関係の知識をほとんど学んでいなかったため、必要な知識は入職後に学びました。先輩方が丁寧に指導してくれましたし、都が開催している自治体の土木職向けの研修などにも参加しました。現在では知識も増え、自分で計画を立てて仕事を進められるようにもなりました。



建築職 INTERVIEW



大規模地震に備え、
住宅などの耐震化を
促進しています。

三井田 光一 | 住宅課 | 平成25年度入職 | 理工学部 建築学科卒



1Day Schedule

- ある日の1日
- 7:00 - 出勤
 - 7:30 - メール確認・決裁事務等
 - 9:30 - 係朝礼
 - 9:40 - 助成金等書類審査
 - 12:00 - 昼食
 - 13:00 - 委託業者打合せ
 - 15:00 - 建築物所有者訪問
 - 16:15 - 退勤

※この日は1時間の繰り上げ時差出勤をしています。



市民の生命や財産を守るために、 さまざまな耐震化促進施策を実施

住宅などの建築物の耐震化を促す業務を担当しています。耐震化の促進は、東日本大地震を契機に、平成26年度から府中市の重点プロジェクトとなりました。耐震化に関する市民への情報提供や相談窓口の設置、専門家の派遣などを行うとともに、耐震化に要する費用の支援も実施しています。耐震化は災害時に市民の命を守ることにつながる一方で、所有者が独自に進めることは困難な面もあることから、建物の所有者に親身に寄り添い、「できることから一緒に考えませんか」と取組を支援することを心掛けています。

耐震化事業に長く携わり、現在は係長に。 今後は幅広い経験を積みたい

私は入職2年目から耐震化促進に携っており、現在は住宅安全係の係長を任せてもらっています。重点プロジェクトとして取り組んできたこともあり、府中市の建築物の耐震化は一定の成果を達成できました。また、長く耐震化に携ってきたことで、個人的にも耐震化関連の知識やノウハウを深く学びました。今後は、未経験の業務や新たな事業にも積極的にチャレンジし、若手職員とともに成長し、府中市のまちづくりに貢献したいと考えています。



建築職 INTERVIEW



子育てしながらでも、
安心して
仕事を続けられます。

伊藤 洋子 | 学校施設課 | 平成26年度入職 | 工学部 建築学科卒



Schedule After Work

- ある日の退勤後
- 17:20 - 退勤
 - 18:00 - 保育園お迎え・買い物
 - 18:30 - 帰宅
 - 19:00 - 家族で夕飯
 - 21:00 - 子どもの寝かしつけ
 - 22:00 - テレビドラマ／映画鑑賞
 - 23:00 - 就寝



声かけやフォローしてくれる 同僚のサポートが心強い

私は3歳の子どもを育児中です。一年間の産休・育休から復帰するときは、育児しながら働いていけるのか不安でしたが、同僚のサポートもあって育児と仕事をきちんと両立できています。定時に帰れるように声をかけてくれたり、子どもの体調が悪くなったときには業務を代行してくれたり、周りからのフォローが本当に心強いですね。近年は男性職員が育休を取得することも増えており、職場全体で子育てを支援する文化が根づいていると感じます。

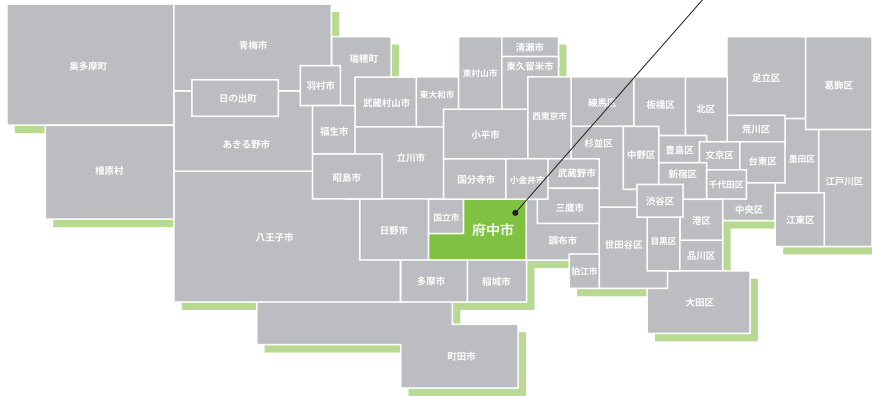
技術職にも女性が増加中。 府中市役所でも女性活躍が進んでいる

学校施設課では小中学校の改築や修繕を行っています。工事を終えて子どもたちが喜んでいるのを見たり、先生から感謝されたりするのが、この仕事のやりがいですね。市の技術職には男性のイメージがあるかもしれませんが、最近では女性も増えています。学校の改修に関しても、母親ならではの視点を生かせることが多々あります。子育てしながら仕事にしっかり取り組みたい女性にも、ぜひ府中市役所で活躍していただきたいですね。

ABOUT 府中市について



ここが府中市!



面積

29.43 km²

駅数

5 路線 14 駅

人口

260,253 人

(令和4年1月1日現在)

世帯数

127,939 世帯

(令和4年1月1日現在)

住みよいと感じる市民

94.6%

(令和3年度市政世論調査)

財政力指数

1.220 ^{多摩} 26市のうち
2番目に大きい

(令和2年度算定)

市内公道総延長

484,520 m

(令和2年版府中市統計書)

公園数

347 か所

(令和2年版府中市統計書)

ACCESS アクセス

NEWS お知らせ



2026年(令和8年)のしゅん工を目指して、
新庁舎を建設中!
快適な事務室で一緒に働きましょう。



職員募集に関する情報は、
府中市ホームページをご覧ください。



府中市
総務管理部職員課

TEL.042-335-4051

令和4年4月発行